タイトル	心の刃
作成者(著者)	藤井智行 / 森和貴 / 渡邉義明
作成者(ヨミ)	フジイ、智行　/　モリ、カズキ　/　ワタナベ、ヨシアキ
出版社・団体	下関短期大学保育学科
出版社・団体(ヨミ)	シモノセキタンキダイガクホイクガッカ
Nii資料タイプ(区分)	研究報告書(教育実践記録等)
ISSN	—
掲載誌名	第38回　下関短期大学保育学科　創作発表会研究発表要旨集
巻・号	—
開始ページ	8
終了ページ	9
発行日	2025/12/13

下関短期大学
〒750-8508　山口県下関市桜山町1-1

Copyright©2025 Shimonoseki Junior College All rights Reserved.

心の刃

下関短期大学　保育学科　（担当教員：藤井智行・森　和貴・渡邉義明）
創作・着ぐるみ劇表現コース
２年　　石川咲笑、加藤里菜、戸根有子佳、俵盛琴葉、前田怜乃音
１年　　長網龍海、成瀬　豪

１　研究の目的

本コースは２年生５名、１年生２名の計７人が在籍している。昨年度から従前の創作・劇表現コースと身体表現コースを統合させ、より質の高い内容となるよう取り組んだ。

主な目的は、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「表現」のねらい、内容等で示されている「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。」である。達成するためには、保育者としてどのような知識・技能・能力が必要かの視点に立ち、既修の内容及び新たに統合した内容への取組みを通して、目的達成に向け活動を行った。

〇ねらい

・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。
・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

〇内容（着ぐるみボランティア）

着ぐるみボランティアは、イベントなどで着ぐるみを着用し、来場者を楽しませる活動である。地域活性化や子どもたちとの交流を目的とした募集が多く、学生も歓迎される場合が多く見られる。着ぐるみボランティアの主な活動は以下の通りである。

・イベントでの来場者との触れ合い
・撮影会
・地域行事の盛り上げ
・演劇などへのキャラクターとしての参加

創作発表会においては、子どもたちが「明るく、楽しく活動し、意欲的に表現するための保育者に必要な力」に着目する。表情や感情の表現に気を使い、いつも元気で楽しい雰囲気をつくることができるように努める。

また、最終目的として保育の現場において欠くことのできない「協働」を学ぶ場と位置付け、計画的・協力的・自主的であることを目標に掲げ、実践に努めた。

２　研究の方法

（１）地域貢献として外部行事への参加

本学令和７年度事業計画書に、地域貢献と明記している。本学に限らず短期大学は、社会的責任を果たすために、その使命に鑑み、内部のステークホルダーとの関係を密にし、地域貢献に努めるとある。地域・社会に向けた公開講座、生涯学習事業、正課授業の開放等を実施することが責務である。

また、経営中期計画でも様々な機関と連携し、教職員・学生ともに地域貢献活動に尽力するという明確な目標がある。本コースにおいても依頼のあった講座において積極的に参加する。今年度の主な地域貢献での発表は以下の通りである。

〇なかべ五月祭（５月）
〇ふくふくこども館（５月）
〇ひこまる児童館発表（７月）
〇豊浦総合支援学校との交流（８月：中止）
〇大平学園秋祭り（１０月）
〇オレンジリボン（１０月：雨天中止）

※学生も日頃の活動から子どもたち、一般の皆さんの前での発表、関わりを得ることができ、多大な相乗効果を得ることができた。



（写真１）なかべ五月祭

（２）創作発表会への取組み

本学では、先に述べたように様々な機関と連携し、教職員・学生とともに地域貢献活動に尽力するという明確な目標がある。本コースにおいても近隣から依頼のあった行事において積極的に参加することにより、積み重ねを行い、最後の集大成の発表として創作発表会での実践となる。

また、着ぐるみ劇を通して組織力とコミュニケーション能力を育み、総合的なプロデュースができるスキルを高める。一人ひとりが相手のことを考え、良好なコミュニケーションの獲得を目指し、自己肯定感と自己有用感のバランスを考えて活動を行う。

以上の観点から、創作・着ぐるみ劇表現という組織（仲間）ということを一人ひとりが自覚し、思いやりの心を常に持ちながら、リーダーシップとフォローワーシップを高める活動を行う。

３　研究の内容

（１）ねらい

創作発表会での台本は、色々なアニメのキャラクターが一緒に暮らしているアニメの国において、主となる炭治郎・胡蝶・ムサシがアンパンマン・バイキンマン・ドキンちゃんの着ぐるみとの演出を通して、鑑賞する子どもたちが豊かな創造性、感受性等を高められるような人気キャラクターを配置し、興味が湧くように取り組む。

また、全員で人気のＴＶアニメ「鬼滅の刃」のオープニングテーマ「紅蓮華」の曲によるエンディングダンスを行う。高揚感のある劇のフィナーレとなるよう努める。

そして子どもたちに、ダンスを通していろいろな動きを取り入れて発育に応じた運動を身に付けさせるように心がける。

（２）演技構成・練習



（写真２）
　創作発表会エンディングダンス（練習）

コース活動は、総合的なプロデュースを目的にしている。

〇台本
〇演出・音響
〇小道具・壁面・着ぐるみ制作
〇ダンス振り付け

音楽もストーリーも演出、描写も優れており、キャラクターの感情をより深く表現できる練習が求められる。今回の台本の中において、戦う場面が多く見られ、動きのもとづくりを目指しての巧緻性・調整力の育成となる。したがって、繰り返しの動きのトレーニングとなるよう努めた。踊る人も見る人も熱くなれるフィナーレで、会場全員が主役になれる瞬間を体験して欲しい。

４　研究の結果と考察

今回のコース活動を通して、一人ひとりの「表現・創作」に対する向き合い方が大きく変わることが確認できた。今回は７人という比較的少数精鋭での活動となり、本コース活動の最大の目標である「協働」・「協調」しながら同じ目標に向かって取り組む意識の向上に努めた。

最終的に一人ひとりが感動体験を得ることにより、保育者としての基本姿勢、保育の専門性、保育者としての働く意識を高めることに繋げた。今回の知識・技能の習得がいかにそれぞれの子どもたちに良い形として活用、繋げることができるかが重要となった。

最後に、引き続き地域貢献活動にも積極的に参加するコース活動となるよう努めたい。多方面から認知していただくことにより、ますます「表現・創作」についての研究を進めて行き成果を発揮して行きたい。